



## BOXSCORE

【ボックススコア】

発行日:2017/06/03

開催日:2017/6/3

開始時間/終了時間:14:54 TIP OFF / 16:24

会場:東京体育館 Dコート

主審:一色 渉

副審:伊東 純希

前橋育英高等学校(群馬) 69

21 -1st- 10  
15 -2nd- 12  
15 -3rd- 15  
18 -4th- 18

55 法政大学第二高等学校(神奈川)

## 前橋育英高等学校(群馬)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
4	*	相川 勇樹(CAP)	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	13:19
5	*	黒岩 大和	5	0	0	2	6	1	2	2	0	1	1	0	0	0	0	21:36
6	*	大山 将平	25	2	6	8	14	3	5	2	2	3	5	0	1	2	1	34:05
7	*	瀧 稜太	15	1	3	6	8	0	0	2	4	2	6	2	0	1	0	32:12
8		榊原 彬士	10	2	8	2	2	0	0	4	1	0	1	2	0	1	0	20:23
9		船戸 海惇																DNP
10		柴多 慧																DNP
11		近藤 虎ノ介	2	0	3	0	5	2	2	1	2	4	6	2	0	0	0	19:06
12		津久井 洋暉	2	0	0	1	4	0	0	1	1	5	6	2	0	0	1	20:55
13	*	萩原 健斗	6	0	0	2	3	2	2	3	3	5	8	0	0	1	0	19:46
14		土田 昇平																DNP
15		入澤 翔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02:56
16		村上 翼																DNP
17		野本 康悟	4	0	0	2	6	0	2	3	0	0	0	2	1	1	1	15:42
18		田中 勇颯																DNP
TEAM SCORE			0			0	0			0	1	8	9	2				
合計			69	5	22	23	48	8	13	20	14	28	42	14	2	6	3	200:00
				22.7%		47.9%		61.5%										

## 法政大学第二高等学校(神奈川)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
2	*	小野 怜史	25	2	13	6	17	7	12	2	2	4	6	1	0	0	1	40:00
7		吉澤 凌雅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:15
10	*	金井塚 優人	7	1	10	1	4	2	4	3	1	3	4	1	0	3	0	32:40
12		坂本 祥平																DNP
14	*	高野 洋平	0	0	2	0	2	0	0	0	2	1	3	2	0	0	0	20:18
17		金子 凌	3	1	3	0	2	0	0	1	0	2	2	1	0	0	1	16:18
18		皆藤 太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	00:15
35		波多野 碧人	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	04:14
52		小山 稜司																DNP
63		加藤 寛敬	8	0	0	2	6	4	5	3	3	3	6	1	0	0	0	25:20
64		四釜 素寛																DNP
66	*	夏 啓大	4	0	0	2	4	0	2	5	2	1	3	0	0	0	0	14:25
74		橋本 大輝																DNP
78	*	中木 隆平(CAP)	4	0	3	2	10	0	1	3	4	2	6	1	0	0	0	35:46
82		山下 晃平	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	10:29
TEAM SCORE			0			0	0			0	7	3	10	2				
合計			55	4	31	15	49	13	26	17	21	21	42	12	0	4	3	200:00
				12.9%		30.6%		50.0%										

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FG: フィールドゴール

M: 成功

A: 試投

FT: フリースロー

F: ファウル

OR: オフェンスリバウンド

DR: ディフェンスリバウンド

TR: トータルリバウンド

TO: ターンオーバー

AS: アシスト

ST: スティール

BS: ブロックショット

MIN: 出場時間(分)

S: スターター

%: シュート率

OT: 延長

出だし両チームともマンツーマンディフェンスからスタート。固い守りで4分経過して、5-6と硬直状態が続いた。激しいディフェンスの中、前橋育英は、#6のドライブシュート、#13のハイポストのミドルシュートで確実に得点した。一方、法政二は、フリースローで得点し追いかける展開で、第1ピリオド、21-10、前橋育英リードで終了。

第2ピリオドも、両チームとも激しいディフェンスで始まる。法政二は、ファーストシュートが決まらないものの#63がオフェンスリバウンドシュートで食らいついて4分経過して27-15であるが、前橋育英のリズムとは言えない。前橋育英のディフェンスが更に厳しくなり、リバウンドからの速い展開が生まれ始め、6分経過30-17のところ、法政二タイムアウト。流れの断ち切りをはかった。しかし、前橋育英のリズムは、ディフェンスリバウンドから速い攻撃の中から、#6のドライブシュートで法政二を崩し、展開は変わらなかった。法政二は、ゾーンディフェンスに切り替えて、前橋育英のドライブ封じを試みたが、前橋育英のディフェンスを崩せず、ファーストブレイクで得点を許してしまった。36-22、前橋育英リードで前半が終了した。

第3ピリオドは、前橋育英#5のミドルシュート、#6のリバウンドシュート、#5のミドルシュートと連続得点で始まり、3分経過して、43-26 法政二はリズムを変えるためのタイムアウト。タイムアウト終了いきなり#78の3Pが決まり流れを変えるためゾーンプレスにした。法政二は、インサイドを攻めずにアウトサイドからシュートをするが、リングにけられて得点が決まらない。前橋育英も、ゾーンディフェンスの対応にミドルシュートで得点を狙うが決まらず、どちらに流れがくるかわからない状況が続いた。そんな中、前橋育英#7の外からの超飛び込みリバウンドシュートが決まり、前橋育英51点。法政二37点で第3ピリオドが終了した。

第4ピリオドは、法政二は依然ゾーンディフェンス。出だし、法政二#17の3Pが決まり、#63のインサイドの攻撃に対して、前橋育英#17のファウルがあり、前橋育英タイムアウト。流れは、法政二の追い上げムード、9点差の攻防。残り7分を切ったところで前橋育英#8の3Pが連続2本決まり得点差が12点になった。法政二は、インサイドでフリースローをもらい食い下がる。残り4分32秒、連続オフェンスリバウンドの末、前橋育英#13のミドルシュートが決まり、61-48で法政二タイムアウト。両チームともゲームの展開の中では得点はないものの、前橋育英は、チームファウルトラブルで得たフリースローを着実に決めて行った。法政二は、#10の3P、スティールからの速い攻撃であきらめない。残り、1分29秒、前橋育英は、流れをタイムアウトで切った。タイムアウトで、ゲームコントロールの指示が出たのであろう、パッシングゲームからドライブと落ち着いたコントロールにより、69-55で前橋育英の勝利で終了した。両チームの激しいディフェンスが印象に残る非常に見ごたえのあるゲームであった。

担当者: 柳屋 伸明